

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270800212		
法人名	社会福祉法人青森社会福祉振興団		
事業所名	グループホームまるめろ		
所在地 (電話番号)	〒035-0067 青森県むつ市十二林11番13号 (電話) 0175-23-0611		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成20年7月3日	評価確定日	平成20年10月1日

【情報提供票より】(平成 20年 6月 18日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 4月 27日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算 8人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	30,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(6月 18日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	87 歳	最低	79 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 道坤会 菊池医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>利用者の笑顔が自然に出ており、家庭的な雰囲気がある。職員は利用者と共に生活しているという認識を持ち、利用者本位の生活を優先するよう心がけている。また、地域の大掃除に参加するなど地域住民とのかかわりを大切にしている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>事業所前の道路は、地域の小学生の通学路となっており、子供達が遊びに来るなどの交流がある。又散歩や買い物などの外出や町内会の夏季や秋季等の大掃除に参加するなど地域住民等との交流を図っており、今後も継続していく予定である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は、自己評価の意義を認識しており、施設内における内部監査や外部評価等の結果について話し合い、改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議の開催時には、サービスの実態を見て頂くと共に、現状の課題など報告しつつ、話し合われた事を貴重な意見としてとらえケアへ反映するよう努められている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>ご家族への連絡は、面会時や手紙、電話、訪問等にて積極的に行われている。また利用者やご家族と話し合える雰囲気づくりに努められている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>買い物、散歩、小学生との交流や地域の行事への参加などを通して地域とのかかわりを深められている。又認知症ケアについてより啓発を進める為にも、地域と連携を図り勉強会の開催や共に防災訓練を図るなど、より強化していく事を期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昔ながらの地域との助け合い、関わりを大切にし、その人らしく利用者の個性を尊重した理念を掲げている。また理念の中には、職員間で話し合われた意見が盛り込まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示しており、また毎日朝礼時にはこれを読み上げ、理念について意識を高めると共に、認識の共有を図っている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域は小学生の通学路になっており、子供達が遊びに来るなどの交流がある。又散歩・買い物等の外出や町内会の夏季や秋季の大掃除に参加するなど、地域住民との交流を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義や目的を職員に伝え、自己評価の検討・評価後の改善等について職員間で共有を図っている。また、独自に内部監査制度を導入しており、日々改善に取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>土曜日に運営推進会議を開催しているが、手作りおやつ提供など、サービスを実際に見て頂く工夫がなされている。又、外出時の課題や地震時の対応など、現状を報告し、会議で話し合われた事を貴重な意見としてとらえケアへ反映するよう努められている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に市の担当者が参加しているほか、必要に応じ市役所へ赴き、サービスの向上に取り組まれている。今までに、病院内での予約方法が改善するなどの成果をあげている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>グループホーム内では月1回の内部研修、年2回の法人としての研修会があり、権利擁護や認知症ケア等様々な研修が開催され理解を深められるよう図られている。職員はいつでも研修内容を確認出来るよう事務所に準備されている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年間計画に基づき法人内で年2回の研修が行われており、虐待について学ぶと共に、ケアが虐待となっていないか検討がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時において重要事項についての説明のほか、重度化、看取り、行動の制限におけるリスク等について事前に説明を行っており、また状況の変化に応じ随時、報告・連絡を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時に加えて、受診結果を含めた現在の状況について電話、訪問等にて毎月1回以上、報告するとともに、現金出納帳・領収書等を郵送している。職員の異動が生じた際には、職員紹介を含め連絡がなされている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>和やかな雰囲気の中で、気軽に話せる環境づくりに留意している。ケアプラン更新時等に家族と対話を図り、事業所に対する意見や苦情等の確認がなされている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動が生じる場合には、「お嫁にいきます」「お嫁入り修行に来ました」など統一の言葉を使用する事により利用者との関係に配慮がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修及び法人としての研修、外部研修など様々な研修を推進しており、事業所内に研修の掲示をしている。又、研修においては事業計画に基づき実行なされている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修に参加し、他施設や同業者と情報交換や交流を図り、ケアサービスの質を向上するための取り組みがなされている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者主体としてのケアを念頭におもてなしの精神が職員間にて共有されており、利用者が食事の盛り付けや掃除など主体性を持たせつつ自分の役割を見出し、馴染みの関係づくりがなされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「助け合って生活していきましょう」というモットーを言葉と態度で示している。利用者がお茶だしをしようとした際、職員は手を添える等しながら、見守り、共に支えあう関係づくりがなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人や家族からの聞き取りを十分に行い、本人の生活歴を大事にした話し合いを持っている。</p>		
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者が自分らしく暮らせるように、本人や家族の意向が盛り込まれており、日々の生活記録を重視し、評価、介護計画の作成に活かしている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画は定期的に評価するとともに、職員が記録する入居者の状態変化や状況、家族・本人の要望に応じた見直しが行われている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院支援等に柔軟に対応し、個々の満足度を高める努力がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医に受診している。また、受診や通院は家族が付き添う場合もあるが、基本的に担当スタッフが付き添うことにしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の指針に沿って、本人と家族の意向を踏まえ、医師・スタッフが連携を図りながらの対応がなされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議等で職員へ意識付けをし、日々のかかわりに関しても、介護の仕方を職員間で注意しあい、利用者の尊厳、個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課に縛られることなく、個々の体調や希望、気持ちを尊重した臨機応変な個別支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と利用者が一緒に食事をとり和やかな雰囲気となっている。利用者の状態に応じ、利用者自身が片付けや茶碗洗いをしており、職員の声掛けやサポートが見受けられた。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望があればいつでも入浴可能であり、スタッフも共に入浴し、コミュニケーションを密にする事で、安心して気分良く入浴が出来るような支援がなされている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが何らかの役割を持って意欲的に活動できるように、声掛けや得意分野を広げて、張り合いや喜びのある生活への配慮がなされていた。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望時や天気の良い日など、心身の活性につながるよう日常的に散歩、買い物、ドライブ等に出かけられている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する勉強会を法人内で行い、職員の認識共有が図られている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間については利用者の希望もあり施錠をしているが、自由な行動を妨げないように日中は鍵をかけない対応がなされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の防災訓練を実施している。また、地域の協力体制もできており、緊急時の電話連絡網も作成されている。		町内会を交えた防災訓練の実施を行うなど、より地域との連携をより深める事を期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士からの献立表を参考に調理がなされている。また摂取量についても把握しており、摂取量の少ない利用者には捕食等の支援がなされている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてのマニュアルがあり、知識修得も十分に行なわれている。マニュアルは最新情報を取り込み随時見直しが行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>施設内は無理やり明るくするのではなく、落ち着いた彩光となっている。テレビの音量も状況に合わせ、随時調整し、ストレスを与えないように配慮している。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>できる限り利用者の馴染みのものを持ち込むよう勧め、安心した場所づくりの支援がなされている。</p>		

 は、重点項目。